

立川と語ろう 立川に生きよう May 2016 Écoutez Bien Vol.34 No.378

弓の名人は柴崎町にあり



立川に70年伊勢丹の変遷

南口から北口に移転して 拡充、拡大の歴史を歩む

昭和22年南口に立川売店として伊勢丹がスタートしたこ とについては、先月号に掲載した。今月号はその後の伊勢 丹の流れをお伝えしよう。伊勢丹が現在の場所に移転して 15年。立川駅から流れ出た人々は、いくつかの筋に分かれ てデッキの上を歩いて行く。そのひとつが伊勢丹の2階入 り口に吸い込まれていく風景も、すっかり定着した。

1952年(昭和27年)2月1日、中央線沿線では初めてと なる百貨店が通称「銀座通り」に開店した。伊勢丹立川店 だ。順調に業績を伸ばし、1956年(昭和31年)には、曙 橋交差点近く、フロム中武の向かい側にある鈴春ビルを 借りて新立川店として営業が始まる。地下1階、地上5階、 延べ面積は1079坪になった。エレベーター2基を備えた 本格的な百貨店形態を設え顧客の話題を集めたそうだが、 当時はまだ立川ではエレベーターが珍しく、履物を脱ぐ人 もいた。顧客には山梨からの来店も多く、また米軍関係者 が日本情緒豊かな商品を求める姿も見受けられたという。 この建物には地階に売場スペースがなかったことと砂埃を 避けるため、食品売場を2階に設けたことが話題になり、 さらに昭和34年2月には南側の増築部分6階に展望食堂 ができ評判を呼んだ。

昭和40年代に入ると立川はますます発展の色を濃くす る。交通の要衝としての役割を担い人口が増加、三多摩 一の商業都市として注目されるようになる。こうした背景を 受け、伊勢丹立川店も更なる飛躍を期して増床することと なる。そうして登場したのが、現在はビックカメラになって いる場所に建設された新立川店(金辰ビル)だった。売場 面積は1万3332㎡、隣接するパーキングタワーには113台 が駐車できた。オープンは1970年(昭和45年)9月12日。 1975年(昭和50年)9月、伊勢丹は立川店が入居していた 金辰ビルの土地、建物を買い取り、支店では初めての自社 物件となる。

伊勢丹立川店の70年を振り返ると、立川に根を張り、 消費者層をよく研究しそのニーズに応えてきた歴史がよく わかる。1993年11月号のえくてびあんにはこう書かれてあ る。立川消防署開署50周年を記念して盛大に行われた『第 20回自衛消防隊訓練審査会』の記事。「女子隊で7年連続 優勝。またまた、無敵を実証した伊勢丹立川店の高橋利 之保安主任は、こう述べる。『この訓練に賭けてゆく充実 感がそのまま、仕事のパワーになってゆくようです。』 | 大型 商業施設として、地域の防災防火に早くから取り組んでき た伊勢丹があって、この審査会が立川でも開かれるように なったのだそうだが、伊勢丹女子隊、その強さは健在だ。



女子隊優勝チーム 伊勢丹チ















きらり!この演 Tachikawa Inside Outside あの人、この人、立川人 29

正射正中

弓の名人、ここにあり。

弓の極意を聞こうと思ったら、 笑うだけで、ほとんど何も語ってくださらなかった。 名人とはそういうものかな。

――先生はずっと立川でいらっしゃいますか?

石川 そうです。立川生まれの立川育ちです。 ――弓道を始められたきっかけはご近所の方のお

誘いだとか。

石川 そうです。今は不動産屋さんになっていま すが、以前、冨士矢ミシンという店がそこにあって、 お父さんが立川の弓引きでした。当時は八段教士 で、その後範士になられた小林正夫先生です。そ の三男坊がちょうど鎌倉国体(第10回国民体育大 会 1955年)で東京都代表で優勝されてね。同じ 町会の青年団で、やってみないかと誘われてなんと なく始めたんです。立川弓道会に入りました。

―― それで夢中になられた。何が魅力だったんで しょう?

石川 そうねえ、1週間くらいやったら、ポンと 中っちゃった。ちょうど6月くらいから始めて、7月 になると大学は休みになるでしょう。毎日毎日引い て、中り出すと結構面白いんですよ。それで大学2 年から弓道部に入ったんです。

一中れば、それは嬉しいですよね。

岡嵜 そりゃなんたって、中れば嬉しいですよ(笑)。 石川 そうだよねえ (笑)。

――でも先生は普通と違ったと聞いています。普通 は1年くらいではなかなか中たらないって。でも百 射のうち70から85くらいは毎日中っていたそうです

岡嵜 そんなに当ったら、それは面白くてしょうが ないですよ。

――でも、そうなるには相当な練習量だったので しょう?

石川 毎日百射は引いてました。今の学生は百な んて当たり前ですが、当時は多い方です。今の学 生は1週間に何千射というノルマがあります。

――中大の弓道部は強かったのですか?

石川 強かったです。今は二部に落ちてしまったけ れど。一時はとても強くて、全日本の王座決定戦 で何度か優勝しています。

――最近弓道はフランスでとても人気が高いとか。 石川 第1回の世界大会 (2010年東京) はフランス が優勝しちゃいましたからね(笑)。2回目はフラン スでやって、その時は日本が優勝したんですけれ どね。弓ってそういうものなんですよ。

> ――海外で「武道の精神」というもの が理解されるのですか?

> 石川 日本人より外国の人の方が真 剣である場合が多いです。ドイツの 哲学者で戦前まで東北帝国大学で 講師をしていたオイゲン・ヘリゲルと いう人が、『弓と禅』という本を書い ています。これはヨーロッパでよく読 まれている本で、その関係なのでしょ うね、精神的なものを求めて弓道を 始める人が多いのです。

一号は中ればいいのではなくて、 所作といいますか、一連の流れが弓 道なんですね。

石川 そうです。ですから審査はそ の全部を見ています。練習量を積ん でいるとそれが自ずと現れてきます。 練習をいかに基本に忠実にやってい るか、ということです。やっていれば こなれてきて、自分の身になってくる。 だから見た感じも変わってきます。

――正射正中と言うそうですが…。 石川 そうですね。基本に沿ってき ちっとやっていれば中るということで す。中りにもいろいろありまして、癖 石川武夫氏

昭和12年立川生まれ。昭和31年中央大学入学、立川弓道会で弓道を始める。 翌年、大学2年の時から中央大学弓道部。昭和35年に五段、昭和40年錬 士、昭和49年教士、平成元年に八段昇段。平成6年範士、平成23年弓道 範士九段。平成27年まで、公益財団法人全日本弓道連盟会長、及び国際 弓道連盟会長。日本武道協議会常任理事、関東地域弓道連盟連合会会長、 東京都弓道連盟会長を歴任。明治神宮武道場至誠館弓道科師範、中央大学 己道部名誉師節。



中りといって自分でなんとかやってあてる。全く異 なる射方をしても、中ることは中るんです。でも、 それではだめだということです。癖中りも結構いま すよ。でも、それは弓ではない。中っただけでは 弓ではない。

――スポーツとは違うんでしょうか。

石川 私は違うと思うのです。 アーチェリーなどは もうスポーツですけれども。弓道連盟も最初はオリ ンピックに参加するためにありました。ヘルシンキ オリンピック (1952年夏) の時には役員を派遣して、 オリンピックに参加するためにいろいろな工夫や研 究をしたのです。でも、弓はそういうものではない ということで、アーチェリー連盟にオリンピックへ の出場を譲ったんです。今でも弓道はJOCの役員 を出しているんですよ。

――オリンピックの種目になると武道ではなくなっ てしまう可能性がありますものね。

石川 そうですね。海外の方でも挨拶などは日本 人以上にキチッとされます。朝、練習に行きますと、 会場の入口で皆待っていて、我々講師陣が来ると 立派なお辞儀をするんです。また途中ですれ違う と、必ず止まって挨拶します。今の日本人はやらな いですね。歩きながらお辞儀をしますからね。お 辞儀すればいい方ですよ(笑)。

――岡嵜会長にお話をうかがうと、「止まっている 的を射るのだけれど、自分の気持ちは止まらない からね。心は揺れるものだから」って。なんだか、 なるほど~って妙に納得しちゃうんです(笑)。

岡嵜 失敗の原因はすべて自分にある。

石川 そうそう(笑)。だって相手は動かないもの だからね。動かないものを射るのに、相手のせい にはできないじゃない(笑)。

----確かに。

岡嵜 自分に返ってくるんですよ。「的が鏡」ってね。 正しく射ってるのに中らないのは自分が悪いから。 心に動揺があるからですよ。

動揺があると中らないものなのですか?

石川 それはそうですよ。みなさん経験しているこ とですが、普段自分の道場ではほとんどはずさな い人が、審査になるとはずす。たとえば「あてなく ちゃいけない」とか、人に見られて「いいところを見 せよう」とか。そんなものが胸をちょっとよぎると、 やっぱりだめですね。

---どうやって無心になればいいのですか?

石川 やっぱり「平常心」でいるということですね。 ― う~ん、その時だけ平常心って思っても、な かなかできないです。

石川 そう。だから普段の稽古が大事だということ です。基本をきちっと。その繰り返しです。矢は弓 が飛ばしてくれます。自分の力で飛ばすのではなく て、いかにきちっと張った弓をバランスよく放すか ということです。

――その基本にもいろいろ具体的にあるのでしょ

石川 左と右とのバランス、体全体のバランス、縦 横十文字という縦線と横線がきちんと十文字になっ ているかとか、「会」に入った時の五つの十文字と か、そういった弓の基本がいろいろあります。それ をしっかりやっていれば大丈夫ですよ、ということ です。基本に忠実にやっていれば、体は動いてくる のです。失敗したら反省して、また基本に戻る。手 先で引くわけではなく全身を使います。呼吸も腹式 呼吸で丹田に落とし、上半身は楽にして。

岡嵜 それがなかなかできないんだよなあ(笑)。

――岡嵜会長とお話していると弓って大変なものな んだなあと思うし、石川先生とお話すると、なんか 弓って簡単なのかもしれないなんて錯覚しちゃいま す。

石川 単純な動作の繰り返しですからね(笑)。やっ ていくとうまく中たるようになってきて、またガクッ と落ちる。その落ちた時が勉強なんです。中りが 続いている時は何も考えていないから進歩がない。 でも癖が出てきて、いろいろなことが崩れてきて、 また基本に戻って。その繰り返しが積み重ねられ て上に上がっていくんです。いろいろ考えて反省し て研究するでしょう? それが大事なんですよ。

——なるほど。以前 NHK の 「サムライスピリット」 でしたか、ろうそく4本しかない中で電気を消して 真っ暗にして見えない的を狙ったことがありました ね。射った後電気をつけたら真ん中に中っていた。 あれは本当にびっくりでした。的が見えていたので すか?

石川 見えていませんよ。でも、自分の頭の中で 的の位置は残像でパーッと出てくるので、普段と同 じように引いていました。

岡嵜 だから、正しく引いているということなんで すよね、普通の人はそうはいきませんよ。 ――岡嵜会長が話すとむずかしいんだなってわか

中っちゃったからね(笑)。

ります (笑)。

――テレビで映しているのに、真っ暗にされている

石川 あの時は自分でもびっくりしました。一発で

のに、あてちゃうってものすごい平常心ですね。 石川 意外に「ダメかも」って思って引いているか

らじゃないかな(笑)。ただね、闇的は一度やった ことがあったんですよ。昭和42年に、武田豊先生 という、後に新日鉄の会長までなられた方ですが、 その武田先生がまだ秘書室長か何かだったころ、 武田先生の別荘に招かれたことがありました。

— ž ž

石川 その年の国体で東京が優勝して、倉林さん などが女子で優勝した時ですね。

―― 倉林さんは倉林裕子さんですね、えくてびあ んの別冊で表紙になってくださった教士六段。め ちゃくちゃかっこいい。

石川 そうそう。で、優勝したからということで武 田先生が軽井沢の別荘に招待してくださって、そこ に先生の道場があるんですよ。そこで闇的を引いた ことがあるんです。

---その時も中ったのですか?

石川 中りました。テレビでは、その時一度やって いるからという思いはありましたね。

---どこで撮影なさったのですか?

石川 明治神宮の至誠館道場でやりました。

岡嵜 「的は心の内にあり」ってね。先生の心の中 にはちゃんと的があったんですよ。

――そうですね。でも石川先生ってそういう言葉を あまりおっしゃらないですよね。

岡嵜 言わないですね。

――技とか言葉ではなくて、もう境涯の域なので しょうね。名人なんだなあ。

石川いや。名人じゃないですよ、まだまだです。

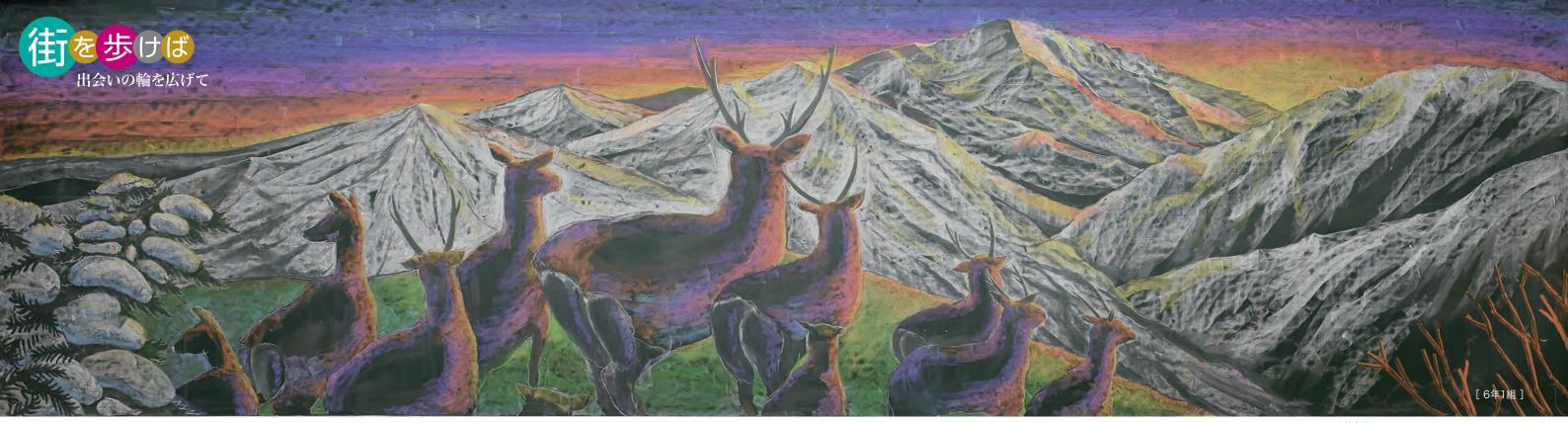
※立川弓道会は5月30日からの2週間月・水・金の 夜7時~9時まで、初心者の体験を受け付けています。 弓道に興味のある方はぜひご参加ください。詳細は岡 嵜会長まで。TFI 042-524-2886

『明治神宮至誠館武道』明治神宮至誠館編 並木書房 『ターゲット ゴディバはなぜ売上2倍を5年間で達成 したのか?』ジェローム・シュシャン著 高橋書店



岡嵜幸平立川弓道会会長のご自宅で撮影

2 Écoutez Bien May 2016 No.378 Écoutez Bien May 2016 No.378 3



みんな、見て、見て!

幸小に通っている児童と卒業生の保護者が作る「こだまの会」。季節ごと、子どもたちのためにいろいろなイベントを計画したり、見守ったり。今回は翌月に卒業式を控えた6年生のために、黒板ジャックを企てた。この呼びかけに応えたのは、武蔵野美術大学の学生ふたり。6年1組は日本画学科1年生(当時)の小林彩楓さん。チョークの長さと黒板の深い緑色を利用して、面で「跳躍」をイメージした絵を描いていく。どんなことも乗り越えて欲しいという担任の願いを表した。6年2組は油絵学科2年生(当時)の泉里歩さん。チョークの色を重ねて重ねて黒板に色を置いていく。描いたのはタイの水かけ祭りのワンシーン。子どもたちが水遊びに興じたある日の楽しい思い出を担任から聞き、イメージした。

2月28日(日)、朝9時に黒板ジャック開始。絵ができあがったのは夜7時だった。そして翌29日(月)。授業が始まるまでの短い時間が鑑賞時間。他学年の児童も順番に鑑賞した。美大生との交流後、黒板は消された。黒板ジャックはこの消すという作業までが一連の流れなのだそう。大作が消えていき、学校はいつもの授業に戻った。しかし、子どもたちの心の中には、何かが残ったにちがいない。

黒板ジャックだ、幸小。

2月29日月曜日。 思わぬプレゼントに、6年生の教室は大さわぎ。





小林彩楓さん



泉里歩さん



	まごこの鉛余 狭山園 527-0146
	お好み焼ともんじゃ焼 こけし526-1267
綿町	 めがね・とけい・補聴器 カワハラ 525-4427
ÐŢ	鳥料理 くし秀522-7692
	鳥料理 くし秀522-7692 寿司勝 522-4874
	IL COVO 595-9071
	イタリア料理 トラットリア ドン シェ~512-8735
	宮地楽器 MUSIC JOY 立川南526-1779
	カフェといいもの penta merone 529-5221
	中国料理 五十番522-7472
	一六珈琲店527-1680
	手づくりみそ 材料専門店 北島こうじ店524-3190
	new gyoza 1059 餃子天国 526-2283
	イタリアンダイニング asa 529-5668
	バー バル アラディ····· 523-3917
	H.works521-2721
	CAFE SOMMEILLER527-1440
	中国整体院529-1088
	中国菜館 多味軒 526-5925
	日本クッキングスクール522-3440
	元祖 5 本指ソックス専門 LASANTE 540-1616
	ホテル日航立川 東京521-1111
	美容室 アリス······ 525-1100
	手打ちそば くまはら川 595-6810
	あちゃ526-2278
	FALCO hair 528-2389
	N HAIR WORLD523-5336
	創作料理 caffe & bar 厨~ kuriya ~ 595-7449
	TTM (株)
	Bakery Café Crown 526-2226
	日本空手道 佐藤塾548-7460
	三田花店本店524-4187
	いわさき痛みの整骨院 529-5123
	にしやま薬局525-9212
	たましん RISURU ホール 526-1311

jorakugajo

-525-1004

たましん 錦町支店

カレー店 CHOTA

真如苑提供番組〈常楽我浄〉

スカパー!: 529ch

スカパー!で放送の常楽我浄は スマートフォンアプリ「ivy」(無料)で視聴できます。

J:COM 多摩: 111ch 放送時間については番組表をご確認ください。

www.shinnyo-en.or.jp

街の話題

『立川消防フェア2016』

3月5日(土)何年ぶりかの晴天の下、第八消防方面訓練場にはお子さんを含む約1500人の来場者。はしご車やミニ消防車の搭乗、乗車体験、起震車による地震体験

などの体験コーナーや、展示コーナーでは命を守るためのポイントを学んだり、地震後のガスの復旧方法を教えてもらったり。最後の演技披露には、立川消防署隊、ハイパーレスキュー隊、航空隊、消防少年団、立川市消防団、国立市消防団、自主防災組織などが参加。安全安心な街はみんなで作っていくものなのですね!

北極研究、わかったことって何?

立川にある国立極地研究所に代表機関が置かれていた「グリーン・ネットワーク・オブ・エクセレンス(GRENE)事業 北極気候変動分野 『急変する北極気候システム及びその全球的な影響の総合的解明』」が、その事業期間5年間を終了し、総まとめになる一般公開講演を行いました。3月5日(土)コクヨホールには事前申込した聴講者が参加、GRENE北極の研究で「何がわかったか」を、続くArCS(北極域研究推進プロジェクト Arctic Challenge for Sustainability 2015-2020)で「これから何をするのか」について意見交換が行われました。遠



い北極のことだから知らなくていいのではなく、明日は自分事かもしれないという気持ちで聴いてみると、結構 おもしろい公開講演でした。「これから」を担うArCSのパネルディスカッションでは、北極研究を含め科学はど のように社会と関わっていくべきなのか、政策重視の中で研究を続ける真の意味は何か、その中で日本のプレゼンスはどのように発揮できるのかなど、活発な意見交換が行われ、一般人が見ていてもとても興味深い内容でした。えくてびあんはこれからも、難しいけれど、一生懸命追いかけます。

極地研の『街なかサイエンスカフェ in アレアレア』

極地研が立川の街なかで行っている「サイエンスカフェ」。2015年度最後はアレアレアの6階ホールで行われました。入船茶屋のごちそう弁当をいただきながら、極地研の伊村智教授の楽しくて面白い、深いけれど分かりやすいお話を聴きました。2016年度も「街なかサイエンスカフェ」が企画されています。まずは立川青年会議所が開催する「東京ブロック大会」、シネマカフェでの開催になります。5月29日はサイエンスカフェへどうぞ!



たまらんぱーく

「立川にある、たまらない美味しいお店!」「たまらなく大好きな地元立川!」がたまらない100個のブースで賑わいます。たまらんぱーくは、お子様と一緒に家族で参加もOK! カップルで回るのもOKです!5月29日、青年会議所の「東京ブロック大会」に併せて行います。

ブース出展/出店は無料ですので、お店を出したい方は、 青年会議所のHPからお問合せください。

http://www.tachikawajc.or.jp/



ヤギさん、おかえりなさ~い

立飛みどり地区にヤギさんたちが帰ってきました。4月1日(金)、りんどう湖から6頭、河口湖から子ヤギ2頭

を含む10頭が相次いで到着。昭和記念公園曙口寄りの木が懐かしいのか、さっそくそこに集まって、草を食んでいました。4月25日にはさらに何頭か加わって、5月いっぱいはみどり地区の南側で、6月以降は全域に放されるそうです。また愛らしい姿をしばらく見ることができますね!



文理融合のワークショップ

むずかしいタイトルですが、とても面白い試み でした。立川にある研究機関、国文学研究資料 館と極地研究所、それに総合大学院大学がひと つになって「何か」をする。研究機関が立川に移転 してきて初めての文理融合企画です。何をしたか を簡単に言えば、古典の書物からオーロラの記述 を探し出しましょうということです。事前申込され た方々には若い方も多く、古典が好きな方、オー ロラが好きな方、さまざまでした。国文研では2 年前から文部科学省の大規模学術フロンティア促 進事業「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネッ トワーク構築計画」を進めています。その古典籍 共同研究事業センターの副センター長である山本 和明先生とオーロラの専門家である極地研究所 の片岡龍峰准教授を中心にワークショップが行わ れ、「吾妻鏡」や「玉葉」など8つの古記録の中に あるオーロラを意味するキーワード「赤気」「白気」 「赤雲」「白虹」などを探しました。みなさん静かに 作業し、結果今まで偉い先生でも見つけていない 発見がありました。市民参加型の取組に、次回は みなさんも参加されてみてはいかがでしょう。





おじゅましま~す!

雅(みやび)

昨年11月、曙町2丁目にオープンしたお寿司屋さん。HP を見ても、実際にお店の前まで行っても、いかにも高級店。 しかも夜しかやってないと聞いたら、怖くて入れないですよ ね。でも、思い切ってうかがってみたら、手が届かない!と



んでした。釣った魚をその日のうちに、あるいは 鮮度の高い産直ものをお 刺身でいただくのですか ら、おいしさに釣り合う 値段は仕方がない。えく てびあんを基準にしては 読者の皆様に申し訳ない

いうお値段ではありませ

[46]

のですが、ちょっと今日は奮発してお寿司でもという方にはお勧めで、接待ならもってこいだと思います。個室は4名様~12名様までのご用意ができ、3名様でも大丈夫。ルームチャージは一切かかりません。お酒の種類は豊富です。新鮮な白身の魚のお刺身とお酒はベストマッチ。魚好きにはた

まらない。新鮮な白身はワインもおいしい。女子にサラダは付き物ですが、海鮮サラダはボリュームもあり、寿司ネタが散らばっていて、とても豪華。揚げ物も煮魚も、旬をおいしく食べさせてくれる逸品です。でも、何よりもやっぱりお寿司ですよ。お寿司がおいしい。甘みのある京都のお米、厚みのあるネタにわさびをはさんでキュキュっと。チョコッと醤油をつけて口に運べば…。お寿司、やっぱり大好きです。





立川市曙町2丁目18-17 町田ピルB1 TEL 042-595-9522 営業時間 ディナー 17:00~23:00 (L.O 22:30) ランチは検討中 定休日 日曜日

★個室は予約してください。 コース料理は4名様から承ります。



表紙の人

西国立駅前の床屋さん。マスターの英男さん がすでに二代目。奥様の幸子さんのご実家も 床屋さん。お嬢さんの優子さんが理容に加えて 美容まで枠を広げた今は、髪のケアはもちろん 気持ちいいリンパマッサージなどもしてくださっ て、お客様の4割は女性なのだとか。お店の名 前《BB・TAKAOKA》のBBはbarberではあり ません。barber&beautyです。お店にズラッと 並ぶトロフィーや楯は、スタッフの皆さんがコン クールでゲットしてきたものですが、優勝、優 勝、また優勝!すごいじゃありませんか! 撮影の この日は、営業が終わってからの遅い時間。お なかがすいちゃって姉弟喧嘩になっちゃったけど、 カメラの前ではとってもいい笑顔をみせてくれた お子さんたち。名前の一文字ずつとると「希望の 空」。家族っていいなあと改めて思わされた撮影 でした。

かたこと

◆月刊誌はタイミングが合わないと間の抜けた頃 に掲載、なんていうことも間々あります。掲載で きない時もあります。掲載は4月になってしまいま すが…と事前にお伝えしての取材が「黒板ジャッ ク」でした。このえくてびあんをご覧になる時は、 皆さん、もう中学生ですね。中学校の生活はどう ですか?◆初めて取材依頼をしてから何年経った でしょう。石川武夫先生にようやくお話をきくこと ができました。中島敦の短編小説に「名人伝」が あります。中国の弓の名人を書いたものですが、 まさにその名人に通じるものを感じ、我が質問の 無意味さを何度も味わう、そんな貴重な体験をさ せていただきました。ありがとうございました◆ 立川にヤギが戻ってきました。なんとなく温かい 気持ちになりませんか?うれしいですね。また半 年ちょっと、立川に色づけしてくれる存在になり そうです。立飛のヤギ担当の皆さん、がんばって ください◆花のきれいな季節に入りました。街な かの緑もきれいですが、昭和記念公園の草花が 見ごろです。セグウェイガイドツアーが始まってい ます。予約が必要ですが、広い公園をスーッと動 けるのは快適かもしれません。えくてびあんも立 川に寄り添って今月もがんばります。

えくてびあんスタッフ一同

えくてびあん ©

5月号 第34巻 通巻378号

平成28年5月1日発行 発行 有限会社えくてびあん 〒190-0023 東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065 E-mail message@tamatebakonet.jp URL http://www.tamatebakonet.jp 発行人 黒須 環 企画・写真・編集 えくてびあん編集スタッフ デザイン池田隆男 (WATER DESIGN ASSOCIATES) 印刷 三浦印刷株式会社

無断転載を禁じます。

待っています。

地域の仲間と出会いのパーティー (通称:まちパ)

ネーミングがいいです。でも「婚活パーティー」と間違われてしまう? 結果的に婚活になることもあるかもし

れませんが、地域活動をしている団体が集まって、お互いの活動を知り、またこれから参加してくださる方にも仲間になって生き生きと活動してもらいたいという思いから開催されているイベントです。主催はまちパ実行委員会。共催が立川市社会福祉協議会市民活動センターたちかわと立川市産業文化スポーツ部協働推進課。「子ども・子育て」「福祉・健康」「環境・安心安全」「地域づくり・まちづくり」「文化」」「文化川」「その他」に分かれて紹介されていました。社会から孤立したり、引きこもりがちなシニア。こうした活動を通して常に社会と接しながら、他のため自分のために生涯現役でいたいですね。



会場の様子

立川市消防団 規律訓練 4月3日(日)

街に新人さんが登場する4月。立川市消防団にも新しい団員が入りました。いろいろな事情で退団する方も



いらっしゃるので、新入団は市民にとってもありがたいことです。立川市消防団は4月から豊泉豊団長のもと、街を守り命を守るために活動されます。また立川消防署は新しく増田哲生消防署長がその任についておられます。災害に強い街を作るには消防署と消防団が協力しないとできないと署長のお話にありました。市民1人ひとりも防災の意識を高めていきましょう。この日は新入団の団員や班長、分団長などの3つのグループに分かれて基本的な訓練をされたのですが、人を動かすために号令をかけるってとても大変なのだと、改めてよくわかりました。

新たに5品、加わりました

立川観光協会では立川市内で販売されている商品の中から、立川のお土産品として独自性に富み、かつ品質が優れたものを推奨品として認定しています。今年も新たに5品が、3月9日(水)審査会・品評会を経て推奨

品として認定されました。この審査会には一般の方も参加していただきたいということで市報にも募集記事が掲載されていましたが、今回は応募がなかったのだとか。次回はみなさん参加されてみてはいかがでしょう?





新たに加わった推奨品

審査会の様子